

## 石浜昌宏先生の略歴と主要な業績

### 略 歴

1944年 5 月	茨城県下館市（現在の筑西市）に生まれる
1970年 3 月	東京大学文学部独語独文専攻卒業
1974年 3 月	東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了
1975年 4 月	宇都宮大学教養部専任講師
1981年 5 月	宇都宮大学教養部助教授
1990年 9 月	宇都宮大学教養部教授
1994年10月	宇都宮大学国際学部教授

この間、駒沢大学、東京藝術大学、明治大学、跡見女子短大、ドイツ・ミュンヘン大学などで非常勤講師を務める



### 所属学会

日本シュトルム協会、日本独文学会

### 研究活動

#### （著書）

1. 『シュトルム文学研究』（共著）東洋出版、1993 年
2. *Storm-Essays aus japanischer Perspektive*, Husum Druck – und Verlagsgesellschaft（共編共著）1998 年
3. 『シュトルム文学新論集』（共著）鳥影社、2003 年

#### （論文）

1. 「トーマス・マン『ファウストゥス博士』における暗い遊び」（宇都宮大学教養部『研究報告』第 13 号第 1 部）1980 年
2. 「糸を紡ぐグレートヒェン ～ 音楽とドイツ文学・授業の試み」宇都宮大学外国文学研究会『外国文学』32 号）1984 年
3. 「『白バラ』資料 ～（Ⅰ）資料の概説」（宇都宮大学教養部『研究報告』第 17 号第 1 部）1984 年
4. 「注釈『シンドラーのリスト』」、「映画『シンドラーのリスト』の成立」、「映画『シンドラーのリスト』その周辺と課題」（宇都宮大学外国文学研究会『外国文学』44 号）1995 年
5. 「異文化摂取の現在（Ⅰ）ミュンヘンからの報告」（宇都宮大学外国文学研究会『外国文学』45 号）1996 年、翌年同誌発表「異文化摂取の現在（Ⅱ）表象と外国語の位相～」と合わせて『英語学論説資料第 31 号』（論説資料保存会編）に再録
6. 「ホロコースト表象の現在（Ⅰ）— 映画『ショアー』以前—」（『宇都宮大学国際学部研究論集』第 5 号）1998 年
7. 「ホロコースト表象の現在（Ⅱ）— 映画『ショアー』と『ショアー』以後—」（『宇都宮大学国際学部研究論集第 6 号』1998 年
8. 「淀川長治の（功）罪 — ヴィスコンティ『ヴェニスに死す』講釈を例として」（宇都宮大学外国文学研究会『外国文学』52 号）2003 年
9. 「映画『羅生門』の表象文化論的考察」（宇都宮大学外国文学研究会『外国文学』56 号）2007 年

その他二十数篇

## 教育活動

学部における担当科目

「表象文化論」「演習」「ドイツ語講読」

大学院における担当科目

「表象文化論と現代」「国際学総合研究」

共通教育における担当科目

「ドイツ文学」